

# 2023年度（2024年2月期） 通期決算説明資料

2024年4月5日



- 1** 2023年度の決算概要
- 2** 2023年度のトピック紹介
- 3** 2024年度の業績予想



## 2023年度の決算概要

# 1. 業績サマリ

- 売上は前期比18.0%減少し21,737百万円。売上減少の大半は中国向け。
- 販管費は前期比で372百万円減少したが、売上減少による粗利減少をカバーできず営業利益が減少。

(単位：百万円)	2021年度		2022年度		2023年度			
	金額	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
							増減額	増減率
売上高	23,580	26,505	100.0%	+12.4%	<b>21,737</b>	100.0%	▲ 4,767	▲18.0%
売上総利益	5,337	5,753	21.7%	+7.8%	<b>4,605</b>	21.2%	▲ 1,147	▲20.0%
販売費及び一般管理費	3,191	3,949	14.9%	+23.7%	<b>3,577</b>	16.5%	▲ 372	▲9.4%
営業利益	2,145	1,803	6.8%	▲16.0%	<b>1,027</b>	4.7%	▲ 775	▲43.0%
経常利益	2,421	2,219	8.4%	▲8.3%	<b>1,427</b>	6.6%	▲ 792	▲35.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,736	2,665	10.1%	+53.5%	<b>1,378</b>	6.3%	▲ 1,286	▲48.3%
1株当たり当期純利益	66.07円	101.21円	—	+53.2%	<b>52.23円</b>	—	▲ 48.98円	▲48.4%
設備投資額	2,342	722	—	▲69.1%	<b>373</b>	—	▲ 348	▲48.2%
減価償却費	573	848	—	+48.1%	<b>930</b>	—	+81	+9.6%
ROE	6.1%	8.5%	—	—	<b>4.1%</b>	—	—	—

## 2. 売上の推移（地域別）

- 中国向けの売上が大きく減少。日本向けの売上は4期連続で減少。
- 日本・中国・アジア以外の地域の売上構成が上昇（2022年度：18.9%→2023年度：28.2%）

▲：前年度と比較して増加

▼：前年度と比較して減少

(単位：百万円)	2021年度		2022年度			2023年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
日本	6,103	▼▲14.6%	5,421	20.5%	▼▲11.2%	4,718	21.7%	▲703	▼▲13.0%
中国	7,452	▲+1.7%	9,549	36.0%	▲+28.1%	5,816	26.8%	▲3,733	▼▲39.1%
アジア	5,415	▲+40.5%	6,519	24.6%	▲+20.4%	5,061	23.3%	▲1,457	▼▲22.4%
欧州	1,931	▼▲37.2%	2,621	9.9%	▲+35.7%	2,792	12.8%	+170	▲+6.5%
北米	388	▲+8.4%	1,145	4.3%	▲+195.0%	1,160	5.3%	+15	▲+1.3%
中南米	1,957	▲+47.1%	1,216	4.6%	▼▲37.9%	1,796	8.3%	+580	▲+47.7%
その他	332	—	30	0.1%	▼▲90.8%	391	1.8%	+360	▲+1180.0%
合計	23,580	+2.1%	26,505	100.0%	+12.4%	21,737	100.0%	▲4,767	▲18.0%

### 3. 売上の推移（製品の種別別）

- 大人用紙おむつ製造機械が2期連続で増加し、売上構成比が40%を上回る。
- 小児用紙おむつ製造機械は2期連続で減少し、売上構成比は約20%の水準まで低下。

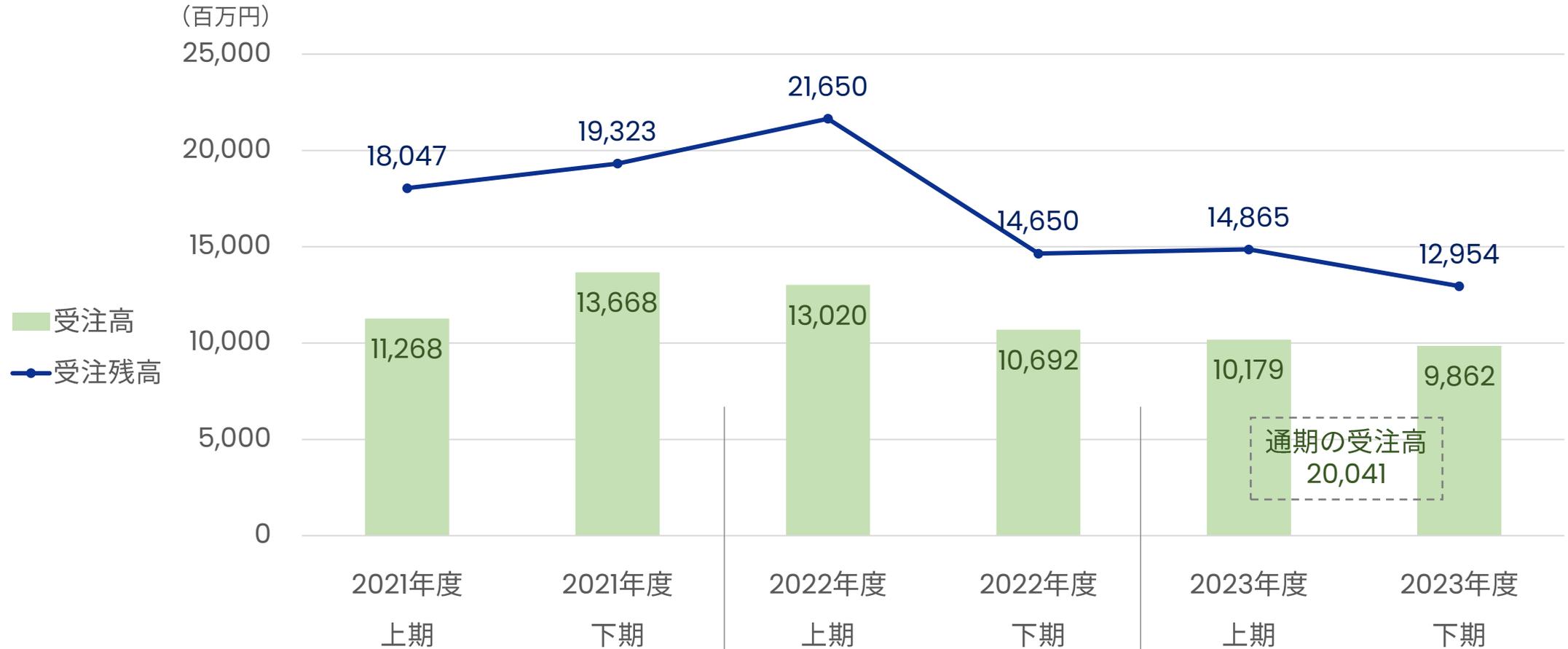
▲：前年度と比較して増加

▼：前年度と比較して減少

(単位：百万円)	2021年度		2022年度			2023年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
生理用ナプキン製造機械	3,754	▲ +24.3%	3,825	14.4%	▲ +1.9%	<b>3,815</b>	17.6%	▲ 9	▼ ▲0.2%
小児用紙おむつ製造機械	11,118	▲ +16.2%	10,227	38.6%	▼ ▲8.0%	<b>4,586</b>	21.1%	▲ 5,641	▼ ▲55.2%
大人用紙おむつ製造機械	4,568	▼ ▲20.8%	8,541	32.2%	▲ +87.0%	<b>10,156</b>	46.7%	+1,615	▲ +18.9%
その他機械	1,615	▼ ▲28.2%	1,291	4.9%	▼ ▲20.1%	<b>748</b>	3.4%	▲ 543	▼ ▲42.1%
部品	2,038	▲ +0.8%	2,206	8.3%	▲ +8.3%	<b>2,237</b>	10.3%	+31	▲ +1.4%
その他	486	▲ +5.6%	413	1.6%	▼ ▲15.0%	<b>193</b>	0.9%	▲ 219	▼ ▲53.2%
合計	23,580	+2.1%	26,505	100.0%	+12.4%	<b>21,737</b>	100.0%	▲ 4,767	▲18.0%

## 4. 受注動向（全体）

- 2023年度末時点の受注残高は12,954百万円。前年度末比で1,695百万円（11.6%）減少。
- 2023年度の受注高は、20,041百万円。前年度比で3,671百万円（15.5%）減少。



## 4. 受注動向（製品の種別別）

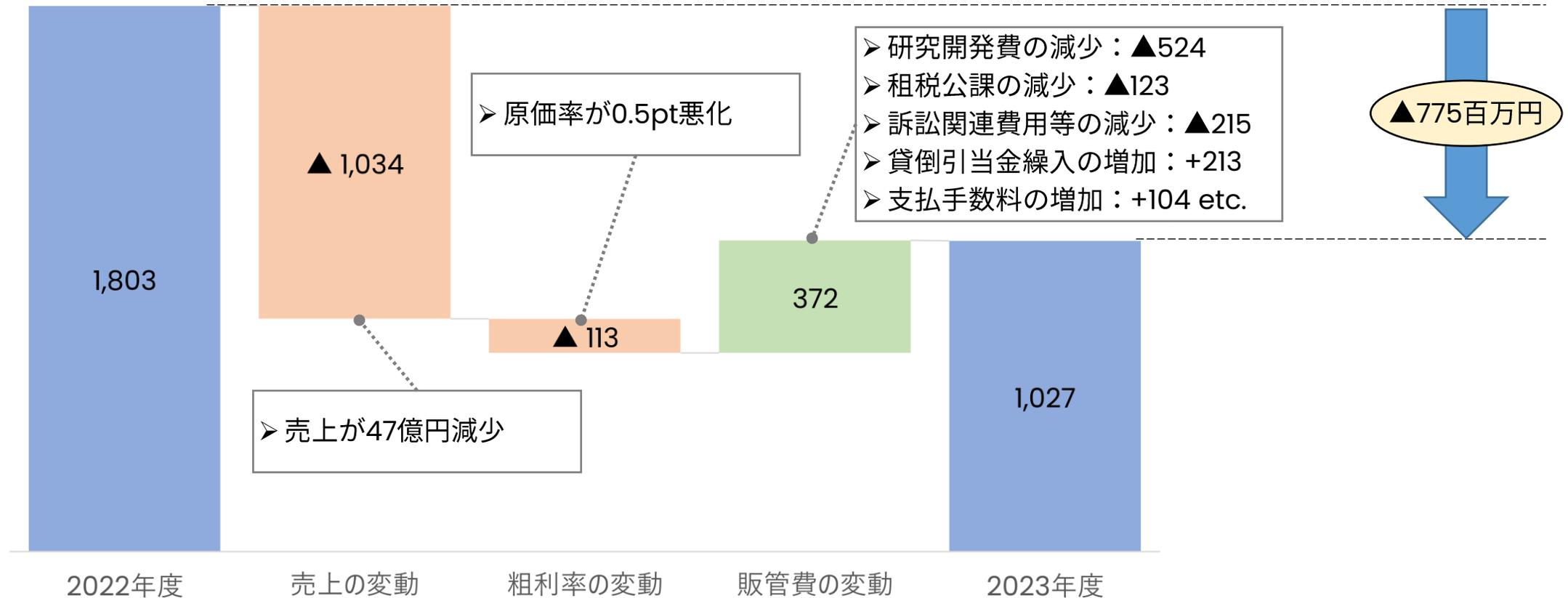
受注高 (単位：百万円)	2021年度		2022年度			2023年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
生理用ナプキン製造機械	3,653	+14.5%	2,642	11.1%	▲27.7%	<b>3,189</b>	15.9%	+546	+20.7%
小児用紙おむつ製造機械	11,862	+9.5%	4,830	20.4%	▲59.3%	<b>7,441</b>	37.1%	+2,611	+54.1%
大人用紙おむつ製造機械	3,299	▲57.4%	12,369	52.2%	+274.9%	<b>6,327</b>	31.6%	▲6,042	▲48.8%
その他機械	3,597	+27.7%	1,250	5.3%	▲65.2%	<b>652</b>	3.3%	▲597	▲47.8%
部品	2,038	+0.8%	2,206	9.3%	+8.3%	<b>2,237</b>	11.2%	+31	+1.4%
その他	486	+5.6%	413	1.7%	▲15.0%	<b>193</b>	1.0%	▲219	▲53.2%
合計	24,937	▲7.9%	23,712	100.0%	▲4.9%	<b>20,041</b>	100.0%	▲3,671	▲15.5%

受注残高 (単位：百万円)	2021年度		2022年度			2023年度			
	金額	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比	
								増減額	増減率
生理用ナプキン製造機械	3,214	▲3.1%	2,032	13.9%	▲36.8%	<b>1,406</b>	10.9%	▲626	▲30.8%
小児用紙おむつ製造機械	8,982	+9.0%	2,111	14.4%	▲76.5%	<b>4,967</b>	38.3%	+2,855	+135.2%
大人用紙おむつ製造機械	3,976	▲24.2%	9,330	63.7%	+134.7%	<b>5,501</b>	42.5%	▲3,829	▲41.0%
その他機械	3,149	+169.8%	1,175	8.0%	▲62.7%	<b>1,080</b>	8.3%	▲95	▲8.1%
合計	19,323	+7.5%	14,650	100.0%	▲24.2%	<b>12,954</b>	100.0%	▲1,695	▲11.6%

## 5. 営業利益の増減要因（前期比）

- 営業利益は前期比で775百万円の減少。
- 販管費は前期比で372百万円減少したが、売上減少による粗利減少をカバーできず。

（単位：百万円）



## 6. 営業外損益・特別損益

(単位：百万円)		2022年度	2023年度	増減額
営業外 収益	受取利息	141	190	48
	受取配当金	32	31	▲1
	為替差益	244	172	▲71
	その他の営業外収益	64	177	113
営業外 費用	支払利息	19	19	0
	社債利息	24	24	—
	その他の営業外費用	22	128	105
特別 利益	固定資産売却益	158	595	436
	投資有価証券売却益	280	48	▲231
	受取和解金	789	0	▲789
	資産除去債務戻入益	0	27	27
特別 損失	固定資産売却損	3	0	▲3
	固定資産除却損	4	13	8
	リース解約損	0	1	1
	減損損失	0	205	205

▶ 不動産（旧本社土地）の売却

▶ 保有している株式の縮減

▶ 中国子会社での訴訟による和解金の受け取り

▶ マスク製造機械の評価損など

# 7. 貸借対照表

(単位：百万円)	2022年度末		2023年度末		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額
流動資産	31,180	62.8%	<b>32,405</b>	65.8%	+1,224
現金及び預金	14,030	28.3%	<b>14,482</b>	29.4%	+451
売上債権	10,844	21.8%	<b>11,636</b>	23.6%	+791
棚卸資産	5,137	10.3%	<b>5,005</b>	10.2%	▲131
その他流動資産	1,167	2.4%	<b>1,280</b>	2.6%	+113
固定資産	18,462	37.2%	<b>16,865</b>	34.2%	▲1,596
有形固定資産	16,096	32.4%	<b>14,594</b>	29.6%	▲1,501
無形固定資産	717	1.4%	<b>647</b>	1.3%	▲69
投資その他の資産	1,648	3.3%	<b>1,623</b>	3.3%	▲24
資産合計	49,643	100.0%	<b>49,271</b>	100.0%	▲371
負債	16,554	33.3%	<b>14,519</b>	29.5%	▲2,035
仕入債務	4,771	9.6%	<b>3,534</b>	7.2%	▲1,237
有利子負債	7,767	15.6%	<b>7,531</b>	15.3%	▲236
契約負債・前受金	2,009	4.0%	<b>1,794</b>	3.6%	▲214
その他負債	2,005	4.0%	<b>1,658</b>	3.4%	▲347
純資産	33,088	66.7%	<b>34,752</b>	70.5%	+1,663
負債純資産合計	49,643	100.0%	<b>49,271</b>	100.0%	▲371

- 電子記録債権：+1,402
- 売掛金：▲820
- 契約資産：+213

- 土地：▲899
- 建物及び構築物：▲238
- 機械装置及び運搬具：▲174

- 買掛金：▲917
- 電子記録債務：▲319

- 当期純利益：+1,378
- 剰余金の配当金：▲714
- 為替換算調整勘定：+816
- 土地再評価差額金の取り崩し：+413

	2022年度	2023年度
DEレシオ	0.23倍	0.22倍
自己資本比率	66.5%	70.4%

## 8. キャッシュ・フロー

- 売上債権が増加した一方で、仕入債務の減少等により、営業CFは322百万円の支出。
- 旧日本の土地を売却した影響により、投資CFは1,115百万円の収入。

(単位：百万円)	2022年度	2023年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	388	▲ 322	▲ 710
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,372	1,115	2,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 822	▲ 1,059	▲ 236
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,522	43	1,565
現金及び現金同等物の期末残高	7,879	7,923	43
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 984	792	1,776

### 当期のキャッシュ・フローの主な内訳

#### 営業キャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益：1,879
- 固定資産売却益：▲595
- 売上債権の増加：▲688
- 棚卸資産の減少：393
- 仕入債務の減少：▲1,443

#### 投資キャッシュ・フロー

- 定期預金の増加：▲103
- 有形固定資産の取得：▲318
- 有形固定資産の売却：1,543

#### 財務キャッシュ・フロー

- 配当金の支払い：▲714
- 長期借入金の返済：▲250

2

2023年度のトピック紹介

## ■東京証券取引所プライム市場へ上場市場区分を変更

- 2023年5月17日に、当社株式が東証スタンダード市場から東証プライム市場へ上場市場区分を変更いたしました。
- これまで当社グループをご支援くださいました株主の皆さまをはじめ、多くの関係者の皆様からのご支援に深く感謝を申し上げます。
- 「ものづくりのグローバルメーカーとして新しい価値を創造し、ヘルスケア産業の発展と人々の健康・福祉に貢献する。」というMISSIONのもと、プライム上場企業に相応しいグローバル企業として持続的な成長と中長期的な企業価値の向上、社会課題の解決に尽力してまいります。

### <これまでの歩み>

1946年：創業

1963年：瑞光鉄工（株）設立

1989年：大証二部に株式上場

2013年：東証と大証の統合により、東証二部に移行

2022年：東証の市場区分の見直しに伴い、東証スタンダード市場に移行

2023年：東証プライム市場に市場区分変更



## ■瑞光インドがプネーに移転

- 2023年4月に、ZUIKO India Private Limitedがベンガロール（バンガロール）からプネーに移転しました。
- 移転に伴って新たに作業工場も設立し、これまでの営業拠点としての機能に加えて、機械の保守サービスやユニットのオーバーホールをお客様に提供可能な体制となりました。
- 新拠点は西インドの港に近く、中東やアフリカ大陸へのアクセスが向上します。これらの地域のお客様の保守サービスにも対応してまいります。
- 中期経営計画に掲げたインド向け売上高50億円の達成に向けて、人口増加と生理用品の浸透率の向上が見込まれるインド市場において小児用紙おむつ製造機械や生理用ナプキン製造機械を中心とした需要の取り込みを図ります。

### **ZUIKO India Private Limited**

32A/5, Hadapsar Industrial Estate,  
Hadapsar, Pune-411013  
Maharashtra, India



## ■瑞光インドネシアが新工場に移転

- 2023年7月にPT. ZUIKO Machinery Indonesiaの新工場が竣工しました。
- PT. ZUIKO Machinery Indonesiaは2015年8月に設立され、当社グループの機械を納入したお客様に対して改造や部品販売等のアフターメンテナンスを担ってきました。
- 新工場はジャカルタ郊外のブカシ地区に位置し、高速道路のインターチェンジまで車で約9分と好立地にあります。
- 今後も人口増加と経済成長の見込まれるインドネシアでは、小児用紙おむつや生理用ナプキンの需要も引き続き拡大が期待されます。地域に根差したカスタマーサポートと、お客様の期待を超える技術・サービスを提供し、更なる発展に取り組めます。

### **PT. ZUIKO Machinery Indonesia**

Jl. Kenari Utara II Blok D No. 12, Lippo Cikarang,  
Desa Cibatu, Kec. Cikarang Selatan, Kab. Bekasi,  
Jawa Barat -17530 – Indonesia



## ■コットン製品の製造事業に進出

- 2024年2月21日付で、当社子会社である株式会社COTEXが、テイメン株式会社よりコットン製品の製造事業を譲り受けました。
- テイメン株式会社は、国内で数少ない後晒し方式によるコットン製品の製造・販売会社として伝統的な製法を継承し、肌触りや吸水力、保水力などに優れたコットン製品を生み出してきました。
- 本事業譲受を通じて、衛生用品の素材として広く利用されているコットンの製造や機能開発に取り組み、衛生用品の付加価値向上にこれまで以上に貢献していきます。  
また、天然素材であるコットンの持つ可能性を追求し、衛生用品以外の分野での活用にも取り組んでまいります。



会社名	株式会社COTEX
所在地	岡山県倉敷市連島町連島110番地35
設立日	2024年1月23日
代表者	梅林豊志
資本金	10百万円
事業内容	コットン製品の製造販売
株主	瑞光：100%

## ■Delta S.r.l.の子会社化に向けた基本合意を締結

- 2024年2月に、イタリアの衛生用品製造機械メーカーであるDelta S.r.l.の持分取得及び同社が実施する第三者割当増資の引受により子会社化することについて基本合意を締結しました。現在、最終契約の締結に向けて協議を進めています。
- Delta社は、2002年にイタリアで設立され、欧州や米国、南米、アフリカ等への販売実績を有しています。  
また、当社グループとは異なる価格帯での製品展開をしており、補完関係が期待されます。
- Delta社を当社グループの一員として迎えることで、欧州地域の売上拡大に資するとともに、当社グループの製品ラインナップ拡充を通じて、より幅広いお客さまへの製品供給に貢献すると考えております。

Delta社ウェブサイト <https://www.deltaconverting.com/>

## ■第三者割当による新株予約権を発行

- 2024年3月に、新株予約権を発行しました。
  - 概要
    - 新株予約権の数：40,000個（4,000,000株分）
    - 行使価額修正条項付き
    - 行使期間：2024年3月22日～2027年3月23日
    - 発行済株式総数28,800,000株に対する希薄化率：13.89%
  - 調達する資金の用途（予定）
    - Delta S.r.l.の子会社化：546百万円
    - M&A、資本・業務提携：4,000百万円
    - 研究開発：1,853百万円
- ⇒今後の成長に向けた投資資金の調達が目的

3

2024年度の業績予想

# 1. 業績予想

- 日本・中国での大きな売上増加は見込まず、前期比10.4%増の24,000百万円を計画。
- 営業利益率は7.0%まで回復を目指す、最終利益は減益を予定。

(単位：百万円)	2023年度実績		2024年度業績予想			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	21,737	100.0%	<b>24,000</b>	100.0%	+2,262	+10.4%
売上総利益	4,605	21.2%	<b>5,760</b>	24.0%	+1,154	+25.1%
販売費及び一般管理費	3,577	16.5%	<b>4,080</b>	17.0%	+502	+14.0%
営業利益	1,027	4.7%	<b>1,680</b>	7.0%	+652	+63.5%
経常利益	1,427	6.6%	<b>1,900</b>	7.9%	+472	+33.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,378	6.3%	<b>720</b>	3.0%	▲ 658	▲47.8%
1株当たり当期純利益	52.23円	—	<b>27.25円</b>	—	▲ 24.98円	▲47.8%

中国は大きな回復は見込まず。日本・中国以外の海外案件が増加。

低採算案件の減少及び原価低減活動により原価率改善

子会社増による販管費増、人件費増、M&A費用の発生。

税効果会計の影響等により減益（単発的要因）

# Appendix

# 1. 売上の推移（地域別／半期ごと）

▲：直前の半期と比較して増加

▼：直前の半期と比較して減少

(単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
日本	▼ 2,413	21.6%	▲ 3,689	29.8%	▼ 2,635	29.9%	▲ 2,786	15.8%	▼ <b>2,491</b>	25.0%	▼ <b>2,226</b>	18.9%
中国	▼ 3,061	27.4%	▲ 4,390	35.4%	▼ 1,701	19.3%	▲ 7,848	44.4%	▼ <b>2,286</b>	23.0%	▲ <b>3,529</b>	30.0%
アジア	▲ 2,780	24.8%	▼ 2,635	21.3%	▼ 2,113	24.0%	▲ 4,405	24.9%	▼ <b>2,416</b>	24.2%	▲ <b>2,645</b>	22.5%
欧州	▼ 1,537	13.7%	▼ 394	3.2%	▲ 1,050	11.9%	▲ 1,571	8.9%	▼ <b>1,518</b>	15.2%	▼ <b>1,274</b>	10.8%
北米	▲ 226	2.0%	▼ 162	1.3%	▲ 788	8.9%	▼ 357	2.0%	▲ <b>587</b>	5.9%	▼ <b>573</b>	4.9%
中南米	▼ 846	7.6%	▲ 1,111	9.0%	▼ 516	5.9%	▲ 699	4.0%	▼ <b>371</b>	3.7%	▲ <b>1,424</b>	12.1%
その他	▲ 322	2.9%	▼ 9	0.1%	▼ 8	0.1%	▲ 21	0.1%	▲ <b>292</b>	2.9%	▼ <b>99</b>	0.8%
合計	11,187	100.0%	12,393	100.0%	8,813	100.0%	17,691	100.0%	<b>9,964</b>	100.0%	<b>11,773</b>	100.0%

コロナ禍によるロックダウン

## 2. 売上の推移（製品の種別別／半期ごと）

▲：直前の半期と比較して増加

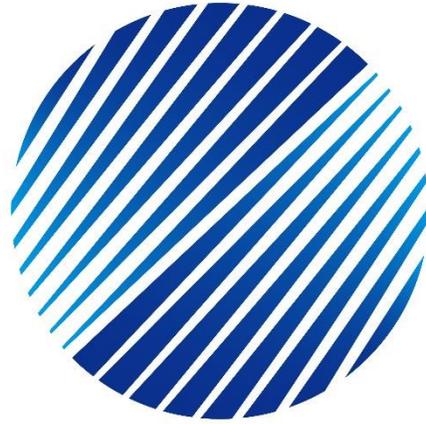
▼：直前の半期と比較して減少

(単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期	
	金額	構成比										
生理用ナプキン製造機械	▼ 1,700	15.2%	▲ 2,054	16.6%	▼ 461	5.2%	▲ 3,363	19.0%	▼ 1,694	17.0%	▲ 2,121	18.0%
小児用紙おむつ製造機械	▲ 6,312	56.4%	▼ 4,805	38.8%	▼ 3,524	40.0%	▲ 6,703	37.9%	▼ 1,485	14.9%	▲ 3,100	26.3%
大人用紙おむつ製造機械	▼ 1,157	10.4%	▲ 3,410	27.5%	▼ 2,905	33.0%	▲ 5,635	31.9%	▼ 5,156	51.8%	▼ 4,999	42.5%
その他機械	▼ 966	8.6%	▼ 648	5.2%	▼ 527	6.0%	▲ 764	4.3%	▼ 480	4.8%	▼ 267	2.3%
部品	▲ 839	7.5%	▲ 1,198	9.7%	▼ 1,156	13.1%	▼ 1,049	5.9%	▼ 1,039	10.4%	▲ 1,197	10.2%
その他	▼ 211	1.9%	▲ 275	2.2%	▼ 237	2.7%	▼ 175	1.0%	▼ 106	1.1%	▼ 86	0.7%
合計	11,187	100.0%	12,393	100.0%	8,813	100.0%	17,691	100.0%	9,964	100.0%	11,773	100.0%

### 3. 受注動向（製品の種類別／半期毎）

受注高 (単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	551	4.9%	3,101	22.7%	718	5.5%	1,924	18.0%	<b>1,838</b>	18.1%	<b>1,350</b>	13.7%
小児用紙おむつ製造機械	4,833	42.9%	7,029	51.4%	5,067	38.9%	▲ 237	-2.2%	<b>2,881</b>	28.3%	<b>4,559</b>	46.2%
大人用紙おむつ製造機械	3,213	28.5%	85	0.6%	5,165	39.7%	7,203	67.4%	<b>3,681</b>	36.2%	<b>2,645</b>	26.8%
その他機械	1,618	14.4%	1,978	14.5%	675	5.2%	575	5.4%	<b>630</b>	6.2%	<b>21</b>	0.2%
部品	839	7.4%	1,198	8.8%	1,156	8.9%	1,049	9.8%	<b>1,039</b>	10.2%	<b>1,197</b>	12.1%
その他	211	1.9%	275	2.0%	237	1.8%	175	1.6%	<b>106</b>	1.1%	<b>86</b>	0.9%
合計	11,268	100.0%	13,668	100.0%	13,020	100.0%	10,692	100.0%	<b>10,179</b>	100.0%	<b>9,862</b>	100.0%

受注残高 (単位：百万円)	2021年度上期		2021年度下期		2022年度上期		2022年度下期		2023年度上期		2023年度下期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
生理用ナプキン製造機械	2,167	12.0%	3,214	16.6%	3,471	16.0%	2,032	13.9%	<b>2,176</b>	14.6%	<b>1,406</b>	10.9%
小児用紙おむつ製造機械	6,759	37.5%	8,982	46.5%	9,051	41.8%	2,111	14.4%	<b>3,507</b>	23.6%	<b>4,967</b>	38.3%
大人用紙おむつ製造機械	7,301	40.5%	3,976	20.6%	7,762	35.9%	9,330	63.7%	<b>7,855</b>	52.8%	<b>5,501</b>	42.5%
その他機械	1,819	10.1%	3,149	16.3%	1,364	6.3%	1,175	8.0%	<b>1,325</b>	8.9%	<b>1,080</b>	8.3%
合計	18,047	100.0%	19,323	100.0%	21,650	100.0%	14,650	100.0%	<b>14,865</b>	100.0%	<b>12,954</b>	100.0%



**ZUIKO**

IRに関するお問い合わせ先

株式会社瑞光 経営戦略部

電話：072-648-2215

e-mail：[ir-contactus@zuiko.co.jp](mailto:ir-contactus@zuiko.co.jp)

本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性があります。